



金 鶏

令和6年1月12日
金沢小学校
(文責 三澤)

新しい年を迎えたその日に、大きな災害がおき、思いがけない幕開けとなりました。被災地が一日も早く復興することを祈っています。このようなことがある度に、何気ない一日の尊さを改めて思います。

2学期終業式には、子どもたちに「家族との時間を大切にして、この休みならではの行事や体験をたくさんしてください」と伝えましたが、ゆっくりと触れ合えた休みになりましたでしょうか。始業式でも、子ども達に、被災された方々に思いを寄せると共に、改めて普通の一を送れる幸せに感謝し、一日一日を大切に過ごしましょう、と話をしました。

47日間の3学期がスタートしました

3学期の始業式では、2年生と5年生の代表児童が、「3学期の目標」を発表してくれました。国語を頑張りたい、九九を頑張りたい、あいさつをしっかりするなど、学習や自分の生活についての目標が具体的に語られ、皆それぞれに自分の課題をしっかりと理解して、前向きに取り組もうとしている気持ちが伝わってきました。「あいさつ」は、年間を通して「金沢小の良い伝統」として子ども達も職員も皆で取り組んできました。子ども達の中に、大切にしたいこととして定着してきていることを嬉しく思います。3学期は、校内だけでなく、校外や地域の中でも進んで気持ちの良いあいさつができるようにしたいですね。

校長講話では、「今年はどんな年？」ということで、まず「甲辰」について紹介しました。

今年は
きのえたつ

甲辰

・辰…元は「振」(ふるう)に由来。自然界の全てのものが振動し、草木が成長してしっかりと育つさまをあらわします。

・甲…きのえ。優勢であること。まっすぐに堂々と立つ大木、生命や物事の始まりや成長、を表します。

⇒甲辰…今まで蓄えてきたことが一気に育ち、実を結んで形を整える年

また、3学期は、スケート学習をしたり、各教科のまとめをしたりすると同時に、進級・進学に向けた大事な準備の期間でもあります。

講話では、「今〇ら」と書いた紙を3枚用意し、子ども達に、〇の部分に入るひらがな一文字を考えてもらいました。「今さら」「今から」「今なら」。この3つにちゃんと気づいてくれました。

「どうせあと47日しかない。今さら何かやったって…」と言う気持ちで過ごすか。

3学期はまだ47日あると思えば、「さあ、今から新しく始めよう」と、希望や期待、新しい目標も見えてきます。今までできなかったことも、「今ならできる」と思えば、勇気や決断をもって一歩踏み出し、取り組めそうです。

また、「今」の下に「心」を加えると、「念」という文字になります。心にとどめる思いという意味もあります。心に思うなら、前向きな言葉を思い浮かべてください。あと47日で卒業、進級です。一人一人が「今から」「今なら」の気持ちを持って過ごしましょう。と伝えました。

子ども達は、3学期の間に、いくつ前向きな「今」や「念」を見つけられるでしょうか。

前向きにもいろいろあります。元気よくどんどん進む子もいれば、静かに穏やかに、堅実に進んでいく子もいることでしょう。子どもたちが、それぞれに自分の進み方を見つけ、前進できることを願っています。

私たち職員も、子ども達と一緒に自分の「今」や「念」を見つけながら、学校が子どもたちにとって、温かく安心できる居場所となるよう、また、充実した学習に取り組めるよう、尽力して参ります。

どうぞ、今年もよろしく願いいたします。

